

(平成 30 年 1 月試験研究業務月報)

試験研究課題：磯根資源総合管理技術開発研究

研 究

宮津湾でナマコ分布・資源量調査を実施

天橋立を望む宮津湾ではナマコ漁業が盛んに行われており、資源を持続的に利用するために、漁業者は漁獲サイズや量の規制などに取り組んでいます。こうした取組がより効果的なものとなるよう、当センターでは漁業者や京都大学と共同でナマコの分布や資源量の調査を行っています。

1 月 20 日のナマコ漁の解禁に先立ち、10 日に漁期前の調査を実施しました。宮津湾を 13 の海域に分けて、各海域の水深 5～25 m でナマコを採集し、数や大きさを調べたところ、昨年よりも多くのナマコが採集されるなど、乱獲により一時は減少した資源の回復が期待されました。

今後は、同様の調査を漁期終了直後の 4 月にも実施し、ナマコの分布生態や正確な資源量、また資源管理の効果等について明らかにしていきます。



天橋立前の調査地点でナマコを採集



漁港で採集したナマコを測定

海洋センター